

## 福岡県福祉サービス第三者評価の結果

## 【第三者評価機関】

名 称	公益社団法人 福岡県介護福祉士会		
所在地	福岡市博多区博多駅中央街7-1-5F		
T E L	092-474-7015	F A X	092-436-5234
評価調査者 登録番号	14-b00065、14-b00071、 14-a00034・14-b00085		

## 【福祉サービス施設・事業所基本情報】

## ◆経営法人・設置主体

法人名称	しゃかいふくしほうじんあさくらかい		
	社会福祉法人あさくら会		
法人の 代表者名	しのざきまさみ	設立年月日	昭和・平成 57年3月1日
	篠崎 正美		

## ◆施設・事業所

施設名称	ひろにわほいくしよ	施設 種別	保育所
	ひろにわ保育所		
施設所在地	〒838-1315 朝倉市入地2607-1		
施設長名	いわした まさよ	開設年月日	昭和・平成 57年4月1日
	岩下 雅代		
T E L	0946-52-3222	F A X	0946-52-3238
Eメール アドレス	hironiwa@mx71.tiki.ne.jp		
ホームページ アドレス	http://asakurakai.or.jp/hironiwa/		
定員 (利用人数)	90名・世帯(現員100名・世帯) ※該当を○で囲む		
職員数	常勤職員： 24名	非常勤職員： 3名	
専門職員	保育士 23名	栄養士 1名	調理士 2名
施設・設備 の概要	乳児室(ほふく室)、保育室(5室)、遊戯室、調理室、保健室、事務室、 未満児トイレ(沐浴室)、トイレ(以上児と職員)、室内プール、サロン (支援センター)、ボイラー室、太陽光発電システム		

◆施設・事業所の理念・基本方針

理 念	・保護者及び地域社会と協力して、児童の福祉を推進し、子どもの最善の利益を守ります。
基 本 方 針	・健康で意欲的な活動ができ、自分を大切にし、他人を大切にし、お互いに育ち合う子どもを育てる。 ・基本的な生活習慣の確立した子どもを育てる。 ・保護者と保育者のしっかりした信頼関係の上に行動し、子どもと遊び合う集団を作る。

◆施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に愛される保育園を目指し、地域子育て支援センターとの交流も行われています。</li> <li>・園庭に梅の木があり実りの時期には梅ジュースを作ったり、菜園で収穫した野菜を給食時にみんなで食べたりして楽しんでいます。</li> <li>・温水プールがあり、子どもたちに個人差はありますが、泳げるように取り組んでいます。</li> <li>・モンテッソーリ教育や安田式遊具を積極的に取り入れて保育課程に活かしています。</li> </ul>
--

◆第三者評価の受審状況

評価実施期間	契 約 日	平成29年8月28日
	訪 問 調 査 日	平成29年11月7日・8日
	評価結果確定日	平成30年2月1日
受審回数（前回の受審時期）	今回の受審：2回目（前回 平成22年度）	

## 【評価結果】

### 1 総 評

#### (1) 特に評価の高い点

##### I. 自然豊かな環境の中で、のびのびと保育活動が行われています。

本来ならば、園庭から広々とした田畑が見渡せる自然豊かな環境の中でのびのびとした保育が実践されていますが、平成29年7月に発生した豪雨災害の影響もあり、土壌の消毒などの関係から園庭内の限られた場所しか開放できない状況が続いています。このような状況の中でも職員が一丸となって保育活動を展開しています。

##### II. 一人ひとりの状態に応じた保育が実践されています。

モンテッソーリ教育や安田式遊具を積極的に取り入れて、自発性を促し一人ひとりの状態に応じた保育に努められています。日々の保育は子供の発達に合わせた支援を基本とし、各年齢の特性に応じた活動を計画して取り組まれています。延長保育においても異年齢との交流をもち、絵本の読み聞かせなど保育士との関わりに配慮されています。

##### III. 地域に愛される保育園を目指しています。

高齢者施設に慰問を行い、ふれあい交流を行うなど相互に良好な関係が築かれています。地域の中で社会体験を積みながら育っていけるよう、地域との交流を広げられています。また同時に地産・地消を意識した献立を考えて提供しています。

#### (2) 改善を求められる点

##### I. 理念や基本方針の実現に向けた中・長期的な計画の策定が求められます。

理念や基本方針を実現するための課題認識をもち、改善に向けた具体的な事業計画や中・長期計画の策定には至っていない状況です。また、職員の定着率が高く、働きやすい環境ではありますが、人材育成に関する個別の計画策定にも課題が残ります。

##### II. 基本的な実践方法の文書化について見直しが求められます。

苦情や療育の対応はなされていますが、明確な記録が残っていません。誰に対してもフィードバックできるように記録を整備し、職員間でも周知されることを期待します。

##### III. 子ども達がより安全に楽しく生活できるように、施設環境の整備を期待します。

施錠の工夫はされていますが、誰もが自由に入出入りできる状況であり、防犯面に不安が残ります。防犯対策の計画は立てられていますが、子ども達の安全・防犯の視点からもより早急な対応が望まれます。

## 2 第三者評価の結果に対する事業者のコメント

昭和57年開所以来、平成22年度に初回、今回2回目の受審でした。職員の中では半数が初めての受審で、戸惑いながら自己評価を行いました。評価項目一つひとつについて回答する中で、自分たちの保育所の姿を振り返ることができ問題点も見えてきました。36年を迎え、職員や地域の方々と共に築いてきた保育の上にある現在の保育の良い点や熱意を評価下さいました。また、足りなかった中・長期的な計画、基本的な実践記録を整備し、より一層保育の質の向上に努めていきたいと思えます。

## 3 共通評価基準及び個別評価基準の評価項目による第三者評価結果（別添）

## 【保育所・評価項目による評価結果】

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。				
項 目		評価	コメント	
1	I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	「保護者や地域社会と協働して、児童の福祉を推進し子どもの最善の利益を守る」という理念および基本方針が園内、ホームページ、パンフレットに掲げられています。

#### I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。				
2	I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	所長会や子育て支援事業等により福祉事業の動向やニーズが把握されています。経営についても常にコスト意識をもって取り組まれています。
3	I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	職員が無理をせずに勤務できるような体制をつくり、意識的に無駄を無くし、業務効率化に努めています。

#### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。				
4	I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	保育理念や施設、人材などの将来ビジョンは持たれていますが、具体的な中・長期計画や事業計画の策定には至っていない現状です。
5	I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	既存の保育理念をもとに単年度の事業計画は策定されていますが、具体的な中・長期計画や事業計画に基づくものとは言い難い現状です。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。				
6	I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c	既存の保育理念をもとに単年度の事業計画は策定され、年度末に実施状況の把握や評価・見直しが行われていますが、全職員が組織的に行われるには至っていない現状です。
7	I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	中長期的な事業計画はありませんが、年度初めに行われる入所式にて保護者へねらい等も含めて単年度の事業計画が説明されています。必要に応じて所長等が別途わかりやすく説明されています。

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。				
8	I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	職員は各々自主研修に取り組まれたり、様々なグループに分かれて質の向上を目指した取り組みを計画・実施しています。また、適宜反省会を持ち、次の目標を立てて個々の質の向上に努めています。
9	I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	保護者アンケートや自己評価などを実施し各会議や研修などで活かされていますが、課題をより明確にして全職員が一丸となった計画的な改善策に繋がるように期待します。

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	II-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a 自らの責務と役割を明らかにし、月1回の職員会議の中で定期的を示しています。役割分担順序表を作成し、所長などリーダー不在時の緊急時の責任者を明確にしています。
11	II-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b 人権研修や倫理、虐待問題など遵守すべき研修を受講し、全職員に周知しています。重要な事項については職員会議で繰り返し伝えていますが、法令等に関してはより幅広い視点で取り組まれることを期待します。
II-1-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	II-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a 様々な研修に参加し自己研鑽に努め、保育の質の向上の提案を行っています。全職員に対してお知らせ掲示板を作成し、毎週月曜日に更新し、職員が自主的に資質向上の意識を持てるように精進されています。
13	II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a 働きやすい職場環境を意識しており、経営状態を職員に伝えたくて検討し、より緊急性・必要性の高いものから購入し、節約も心がけるよう指導されています。

### II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-1 (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
14	II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a 職員の定着率が高く、働きやすい環境整備に努め、正職員・臨時職員の区別なく責任と自覚を持って勤務してもらえるよう取り組まれています。
15	II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	c 明確な人事考課が実施されていない現状です。処遇改善制度なども含めキャリアパスの構築が期待されます。
II-2-1 (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
16	II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a 延長保育などもあるため勤務時間は細やかな配慮が必要ですが、職員の有給休暇や要望、事情を考慮しつつ調整されています。風通しのよい事務所作りを目指されています。
II-2-1 (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
17	II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a 研修には重点を置かれ、自主研修を積極的に行い、個々の資質向上に取り組まれています。
18	II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b 基本方針に基づいた自主研修を積極的に行うなど個々の資質向上に取り組まれています。より計画性のある教育・研修体制の確立が期待されます。
19	II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a 職員一人ひとりの意向を勘案し、モンテッソーリ教育など自主研修を積極的に受講できる機会を確保されています。研修報告も積極的に実施されています。
II-2-1 (4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
20	II-2-(4)-①	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a 実習生等の受け入れマニュアルを作成し、オリエンテーション後は日程表に沿ったプログラムに基づいて実習指導が行われています。実習生の意向も大切にされています。

### II-3 運営の透明性の確保

II-3-1 (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
21	II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a ホームページに理念や保育方針、法人の現状等が示されています。また苦情等があった場合は、園内の掲示板に掲示し改善姿勢が示されています。
22	II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a 所長に与えられた権限の中で適正に行われています。コスト削減については所長自らが率先して取り組み、職員間でも自然に節約意識をもって削減に努めています。

## II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-1 地域との関係が適切に確保されている。			
23	II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a 食材を提供してくれている方や老人クラブの方を招いた給食会を開催されています。子ども達が近くの高齢者施設に慰問にも行かれています。1月のどんど焼きにも行く予定です。
24	II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ボランティア受け入れマニュアルが準備されています。地域の方が花の植え替えや草取りに来られています。
II-4-2 関係機関との連携が確保されている。			
25	II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b 関係機関においては職員会議で確認されています。市の家庭相談や児童相談所など、連携をはかりながら虐待が疑われる子どもにも対処されています。この取り組みを記録に残されることを期待します。
II-4-3 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
26	II-4-(3)-①	保育所が有する機能を地域に還元している。	a 講演会や研修会を開き、地域に案内したり、室内プールを子育て支援センター利用者や卒園児にも開放されています。
27	II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b 地域の具体的な福祉ニーズを把握する努力はされていますが、公益的な事業や活動は行われていません。

## III 適切な福祉サービスの実施

### III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-1 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
28	III-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a 子どもの人権を配慮し自主研修や職員会議で勉強会を実施されています。一人一人の課題や気になることを職員で共有し、保護者の理解も図れるよう親子支援も行われています。
29	III-1-(1)-②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a プライバシー保護のためのカーテンなどの設備やマニュアルが整備されており、職員間でも意識の共有が図られています。
III-1-2 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
30	III-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a 理念や基本方針、保育内容や特性をホームページにて公開されています。利用希望者、見学者にも丁寧に説明、対応されています。
31	III-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b 保護者には、入所式でパンフレットを用いて説明を行っています。変更については、廊下の掲示板や部屋の入り口に掲示しているだけで個別の対応がしにくい状況です。
32	III-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b 小学校への引き継ぎ文書はありますが、転園については相手から特に申し出がない限り文書の交付は行われていません。
III-1-3 利用者満足の向上に努めている。			
33	III-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b 個別面談、保護者懇談会が定期的に行われており、その場で要望などを把握されています。満足度アンケートなどは実施されていません。

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
34	Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b 入所式にて保護者へは苦情解決の仕組みを資料に沿って説明しています。事務所にご意見箱が設置されていますが、相談内容について記録が残されていないことがあります。
35	Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b 相談内容によって、クラス担任だけでなく、主任・所長が相談を受け付けています。事務所にご意見箱が設置されていますが、活用のしにくさがみられ、さらなる工夫を期待します。
36	Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b 相談・意見の答えや対策は個別に対応しており、場合によって廊下の掲示板を利用して保護者に周知されています。面談時に所長が苦情と判断すれば、苦情処理委員会を開催する流れになっていますが記録に不十分さがみられます。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
37	Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a 事故発生時の対応と安全確保についてのマニュアルがあり、職員に周知されています。週1回、安全点検チェックが行われ、クラス担任が毎日教室を点検しています。
38	Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a 感染症対応マニュアルがあります。子どもも、職員も予防のために、手洗い、うがい、マスクを徹底されています。
39	Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a 災害マニュアルが整備され、定期的に避難訓練が実施されています。平成29年7月の集中豪雨災害にて被災されています。その際、職員・子ども数人が帰宅できず、備蓄品を食べ一晩を明かされました。

## Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

### Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

40	Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a 標準的な実施方法のマニュアルが明文化されています。入所式にて保護者にも説明されています。
41	Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a 毎年マニュアルの見直しをされています。次年度の指導計画は、正職員が中心となって2月から3月にかけて行われています。

### Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

42	Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a 子どもの発育状況に配慮した指導計画（年案・月案・週案）が策定されています。
43	Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a 所長、主任、担任で評価、見直しを行っています。一人ひとりに合った教材や、年齢にふさわしいものを提供されています。

### Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

44	Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b 保育台帳、指導計画、個人記録などに一人ひとりの発達状況や生活の様子が記録されています。正職員間では周知されやすい環境ですが、臨時職員など全職員間での共有化を期待します。
45	Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a 記録は事務室で管理されています。個人情報についても鍵の掛るロッカーにて保管されています。



## A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成			
	項目	評価	コメント
46	A-1-(1)-①	a	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
47	A-1-(2)-①	a	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。
48	A-1-(2)-②	a	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。
49	A-1-(2)-③	a	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。
50	A-1-(2)-④	a	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。
51	A-1-(2)-⑤	a	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
52	A-1-(2)-⑥	a	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
53	A-1-(2)-⑦	a	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
54	A-1-(2)-⑧	b	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
55	A-1-(2)-⑨	a	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
56	A-1-(2)-⑩	a	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。
A-1-(3) 健康管理			
57	A-1-(3)-①	a	子どもの健康管理を適切に行っている。
58	A-1-(3)-②	a	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。
59	A-1-(3)-③	a	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。
A-1-(4) 食事			
60	A-1-(4)-①	a	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。

61	A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b	手作りの食事やおやつなど安全でおいしい食事が提供されています。行事食も設定され、様々な食文化に触れる機会となっています。しかし曜日によっておやつ の量にムラがみられます。量のバランスに考慮されることを期待します。
----	-----------	---------------------------------	---	---

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携				
62	A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	日常の情報交換は連絡帳や送迎時の対話を中心となっており、個人懇談などで家庭との連携を図っていますが、連絡帳の記録が曜日によって記録されていないこともあり、こまめな子どもたちの状況報告が望まれます。
A-2-(2) 保護者等の支援				
63	A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	保護者への声掛けを心掛け、子育て相談等に随時対応されています。相談内容は記録されておらず、個別面談の体制整備が望まれます。
64	A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	虐待防止マニュアルが整備され、自主研修などによるマニュアルの再検討も行われています。心身の状態などに細心の注意を払って早期発見に努められています。

## A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）				
65	A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	指導計画の評価や記録の中で保育士自らの振り返りが行われており、自己評価にて保育内容の改善や専門性の向上に努められています。